

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	計算機アーキテクチャ						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	佐塚秀人（久留米工業大学）						
授業の到達目標（シラバスから）	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータアーキテクチャの意味を理解している。 ・コンピュータの基本構造とその性能について理解している。 ・コンピュータの進化の歴史について連続性をもった理解ができています。 ・記憶装置の階層化技術、性能向上ための手法を理解している。 ・最新のマイクロプロセッサのしくみとその設計方針を理解している。 						
日程と内容	<p>4/10 第1回： 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法を説明し、その他についての簡単な説明を行う。</p> <p>4/17 第2回： 計算機の基本原理（プロセッサ、メモリ、ディスク、I/O）</p> <p>4/25 第3回： コンピュータの歴史1：黎明期</p> <p>5/01 第4回： コンピュータの歴史2：汎用大型コンピュータまでの歴史</p> <p>5/08 第5回： コンピュータの歴史3：マイクロプロセッサ誕生とパーソナルコンピュータの時代</p> <p>5/15 第6回： コンピュータの命令（アーキテクチャを基本となる命令セットの意味）</p> <p>5/22 第7回： プロセッサの仕組みと共通アーキテクチャへの道</p> <p>5/29 第8回： 現代のマイクロプロセッサにみる高速化技術</p> <p>6/05 第9回： メモリアーキテクチャ（階層記憶の考え方）</p> <p>6/12 第10回： 仮想記憶のための技術（OSと連携するメモリ管理技術）</p> <p>6/21 第11回： メモリデバイスの技術（主記憶を構成する技術とRAMの高速アクセス）</p> <p>6/28 第12回： データ転送の技術（バスによるデータ転送とその効率化の手法）</p> <p>7/03 第13回： I/O処理のアーキテクチャ（I/Oポートによる入出力、DMAによる入出力）</p> <p>7/10 第14回： ネットワークアーキテクチャ（LANとインターネットを取り込むコンピュータシステム）</p> <p>7/25 第15回： 新しい時代のコンピュータアーキテクチャ</p>						
成績評価基準	定期試験	90%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	10%					
授業到達目標の達成度	授業の内容については目標をほぼ達成した。合格者は授業の到達目標位の60%以上を理解できていると判断する。						
反省点	用意した資料が少しづつ増えてきたこともあり、時間の配分が悪く内容を次回まわしにすることが多くなってしまった。また、新しい話題を入れて学生の興味を惹きつける工夫が必要であったと思われる。						
来年度の計画	汎用大型機までの話、マイクロコンピュータが生まれてからパソコンの普及までの話を中心に構成しているが、組み込みプロセッサや、SoC(システム・オン・チップ)といった近年の流れも話題に組み込む予定である。周辺機器についても、半導体ディスクや無線ネットワークなども準備をしたいと考えている。						
授業評価アンケートに対するコメント	シラバスとの整合性の点で点数が低い。この原因は2つ考えられる。1つは実際の授業の内容に合わせたシラバスの更新をしていない点。もう1つは、内容の更新に伴い、時間内に内容をこなすことができず、次回送りにしてしまっている点がある。授業資料も毎回の内容とズレてきているので修正をする必要があると考えている。学生に熱意は伝わっていることはうれしいが、内容をもうすこし洗練させる必要、資料をもうすこし整理した内容にしないといけないと感じた。						
履修登録者数	16名	定期試験 受験者数	16名	合格者数	16名	合格率	100%